

整備目的

広尾防災公園の周辺は、住民一人当たりの都市公園の面積が少ないうえに、避難場所の面積も不足しています。そこで、一時避難場所の機能を有する都市公園の整備を通じて、地域の防災機能の強化や快適都市空間の形成を図ります。

公園概要

- 面積：約3.7ha
- 開園：平成22年4月1日
- 公園種別：地区公園
- 避難圏域：概ね1km圏内の約13,000人
- 交通：東京メトロ東西線南行徳駅及び都営新宿線一之江駅から徒歩約20分
市川市コミュニティバス（南部ルート）「広尾防災公園」バス下車

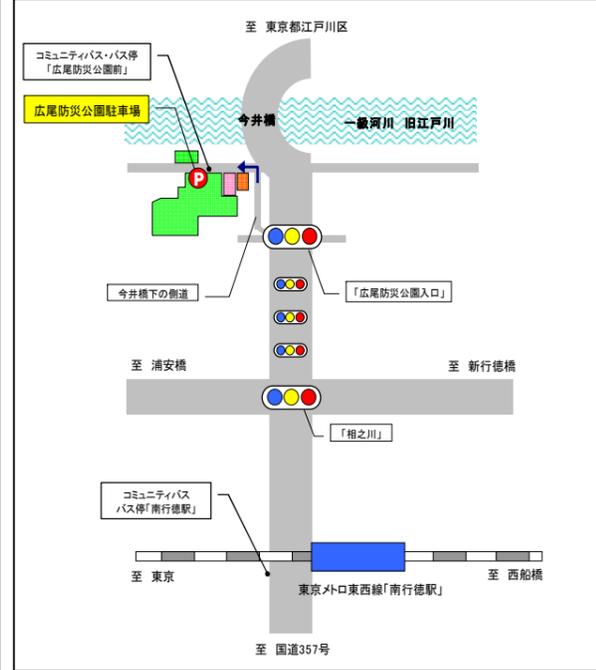
事業経緯

年度	主な事項
平成16年度	市議会の議決を経て、都市公園法に基づき都市公園区域を決定
平成17年度	周辺自治会等の参画を得て、広尾防災公園整備計画策定懇談会を設置 旧行徳市街地地区都市再生整備計画の一環と位置付け、まちづくり交付金を活用
平成18年度	地域住民による策定懇談会及び防災まちづくり懇談会により基本計画を策定 都市公園区域の変更を経て、都市計画法に基づく都市計画決定・公告
平成19年度	雨水貯留槽等の地下構造物の整備に着手
平成20年度	敷地造成や埋設管等の施設整備に着手
平成21年度	公園整備や管理棟等の工事に着手 再び周辺自治会等の参画を得て、管理・運営検討会を設置、利用ルール等を策定
平成22年度	4月1日開園

利用ルール



案内図



広尾防災公園

Hiroo Disaster-Prevention Park



市川市
公園緑地課

【お問合せ先】

市川市 街づくり部 公園緑地課
〒272-8501 市川市南八幡2丁目20番2号 (TEL 712-6367 / FAX 712-6365)
公園管理事務所 (359-0155)

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/gyo07/111200001.html>

主な施設の紹介

<公園施設>

- ①いこいの広場
デイキャンプも楽しめる芝生広場です
※事前に申込みが必要です
- ②健康の広場
軽スポーツが楽しめる芝生広場です
- ③遊びの広場
複合遊具がある子供達に人気の広場です
- ④水に親しむ広場
夏季は水が流れる親水広場です
- ⑤つどいの広場
イベントにはもってこいの広場です
- ⑥花の広場
約500本のバラ等、四季折々の花
- ⑦休憩広場
旧江戸川を眺められる広場です
- ⑧ちびっこ広場
幼児用の遊具や健康遊具があります
- ⑨自由広場
ちょっとした広場です
- ⑩管理棟
管理人室や休憩スペースがあります
- ⑪屋外トイレ
多目的トイレも備えるトイレです
- ⑫駐車場
駐車台数41台（うち身障者用2台）

<防災施設>

- 備蓄倉庫
避難生活用品や資機材等を備蓄
- 耐震性飲料用貯水槽
13,000人の3日間分の飲料水120m³
- 非常用トイレ
災害用のトイレ（和洋68穴）を設置
- 雨水貯留槽
約4,600m³を貯留し浸水被害軽減に寄与
- ステージパーゴラ
専用シートを張れば大型テントに変身
- カマド型ベンチ&スツール
座面部を外すと炊き出しに利用可
- 防火水槽
延焼抑制に40m³×3基を設置
- 非常用発電設備
災害等の停電時に、公園灯等の電力を供給
- ヘリポート
健康の広場は、災害時だけでなくドクターヘリの離発着場となります



主な防災施設の紹介

<p>耐震性飲料用貯水槽</p> <p>災害時に水道本管が破断した際、貯水槽内に13,000人の3日間分の飲料水(120m³)を確保します。</p>	<p>非常トイレ</p> <p>災害時にマンホールを開けて専用テントを張ることで、非常用のトイレ（和・洋68穴）になります。</p>	<p>自家発電</p> <p>災害時に停電となった場合、照明、放送及び雨水貯留槽主ポンプ等の電力を供給します</p>	<p>パーゴラ</p> <p>災害時に救護物資の集積場となりますが、シートを張ることで雨風にさらされない大型テントになります。</p>	<p>備蓄倉庫</p> <p>災害時における避難や救護活動などの必要物品や資機材等を備蓄したり、輸送物資の荷置きスペースとなります。</p>	<p>カマドベンチ&スツール</p> <p>災害時には、座部の板を外すことでカマドになります。炊き出し等に活用します。</p>
--	---	---	--	---	--



EMERGENCY REFUGE AREA

災害時の公園利用の変化

